

# 日本設備工業新聞

発行所  
(株)日本設備工業新聞社  
東京都渋谷区桜丘町10-13  
〒150-0031 野元第1ビル  
電話 (03) 3496-4774  
FAX (03) 3464-1884  
info@setubikogyo.co.jp  
(購読料郵税共) 年額8,000円



**TOTO**  
NEOREST  
きれいな除菌水のチカラで、  
毎回手間なし除菌。  
詳細は弊社カタログ、HPをご覧ください。

# 都市浸水対策を強化

## 豪雨の教訓を踏まえ課題解決

国土交通省は九月二十七日、東京・八重洲のTKP東京駅セントラルカンファレンスセンターで第一回「都市浸水対策に関する検討会」(委員長・古米弘明東京大学大学院工学系研究科水環境制御研究センター教授)を開催した。七月豪雨の教訓を踏まえ、下水道による都市浸水対策の課題を整理し、速やかに取り組みの方向性を示す。新たにワーキンググループを設け、下水道の機能確保に必要なハード対策などを盛り込んだ提言をまとめる考えだ。

## 下水道機能確保など提言へ

都市化の進展に伴う浸透面積の減少によって雨や下水道に対する負担が水の流出量が増え、河川増加している。また気候変動の影響で大雨が頻発し、内水氾濫が発生するリスクが高まっている。西日本を中心とした七月豪雨では河川の氾濫や土砂災害に加え、全国十九都道府県八十八市町村で内水氾濫による浸水被害が発生した。同時に下水道施設自体も被災し、市民生活に多大な影響を及ぼした。



初会合では塚原浩一同省水管理・国土保全局長が冒頭あいさつに立ち「昨今の内水被害を重く受け止めなければならぬ。被害が確実に軽減できるような皆さまの協力をお願いする」と述べ、積極的な議論を促した。また古米委員長が「幅広い視野で提言をより良いものとしていきたい」とあいさつした。

二十七年の水防法改正に基づき新たな雨水管理計画の策定に向けた取り組みなどを進めてきた。しかし七月豪雨で大規模な内水被害が発生したことから、浸水被害激化への対応や被災時の下水道システムの機能確保など一層の対策の強化が求められている。

このため学識者や地方自治体の下水道担当者、関係団体などからなる同検討会を設置。課題解決に向けた取り組みの充実をめざす。

初会合では塚原浩一同省水管理・国土保全局長が冒頭あいさつに立ち「昨今の内水被害を重く受け止めなければならぬ。被害が確実に軽減できるような皆さまの協力をお願いする」と述べ、積極的な議論を促した。また古米委員長が「幅広い視野で提言をより良いものとしていきたい」とあいさつした。

検討テーマは七月豪雨を踏まえた新たな都市浸水対策、iGesuidou(ICTを活用した下水道事業の質・効率性の向上や情報の見える化)、まちづくりなどとの連携、水位周知下水道の推進などとなっている。新たな都市浸水対策の重点課題として①下水道の着実な整備とポンプ排水区における早急な水機能の確保②中小都市における都市機能が集積した街中の再度災害防止対策③下水道と河川が一体となった整備・運用④施設計画を超過する降雨に対する下水道施設の機能・影響評価⑤内水ハザードマップの充実など住民の避難行動に役立つ情報発信⑥下水道の機能確保に必要な耐水化などのハード対策と速やかな排水排除ができる施設の機能確保⑦水害発生時に限られたリソース(ヒト・モノ)で施設の安全を確保しつつ機能を確保する行動計画の整備——などを検討していく。

## 活用の手引きへ骨子案示す

### 環境省 水生生物による水環境保全手法 検討会



環境省は九月二十六日、東京・八重洲のTKP東京駅日本橋カンファレンスセンターで第八回「生物を用いた水環境の評価・管理手法に関する検討会」(座長・岡田光正放送大学理事・副学長)を開き、水生生物を用いた水環境保全手法

(仮称)の活用の手引きの中間報告骨子案を打ち出した。事業場の排水に水生生物の生息・生育環境としての水環境を保全するため、排水全体への生物応答を利用した評価・管理(WET II Who le Effluent



Toxicity)は有効な手法として諸外国で採用されている。当日の検討会では田中局長が冒頭あいさつに立ち「本検討会ではさまざまな方々にご参加いただき、内容を深めてきた。中間とりまとめに向けて活発な議論をお願いする」と述べた。

骨子案は①水生生物を用いた水環境保全手法(仮称)の概要と意義②事業場からの排水に用いる場合の主な留意点・使い方の例③パイロット事業における活用事例・活用方法と主な留意点——で構成。事業場排水への生物応答試験では対象毒性・試験生物種(試験法)、排水変動の考慮、試験結果の評価・解釈、生物影響低減対策などを盛り込む方針だ。

新年度のパイロット事業は下水道業で夏季試験を追加し、藻類に対する残留塩素影響の再確認を行う。

小泉グループは、これからも住設機器の多様化に対応する品揃え、供給・サービス体制をさらに充実させていきます。

人・街・未来へ

住宅設備機器の総合商社

# 株式会社 小泉

本社：〒167-8555 東京都杉並区荻窪 4-32-5 ☎03-3393-2511 (代) HP: www.koizumig.co.jp

### KOIZUMI GROUP

- 株小泉 第一仕入センター/第二仕入センター/第三仕入センター/電材推進室/本社特設部/商開発部/企画事業部/環境事業部/住宅設備事業部/エンジニアリング事業部/クルメタインテグ事業部
- 株小泉東北 本社/仙台営業所/会津営業所/石巻営業所/仙台南営業所/福島営業所
- 株小泉中央 本社/城西営業所/練馬営業所/足立営業所/城北営業所/城東営業所/板橋営業所/プロム線
- 株小泉多摩 本社/八王子営業所/府中営業所/清瀬営業所/武蔵野営業所/立川営業所/町田営業所/西武野営業所/昭島営業所/多摩特販営業所
- 株小泉関東 本社/手塚営業所/船橋営業所/千葉営業所/勝田営業所/柏営業所/千葉南営業所/那須営業所/成田営業所/流山営業所/高萩営業所/古河営業所/守谷営業所/下館営業所/鹿沼営業所/習志野営業所/水戸営業所/市原営業所/千葉北営業所
- 株小泉関東 本社/大田営業所/大宮営業所/前橋営業所/狭山営業所/小川営業所/本庄営業所/秩父営業所/坂戸営業所/春日部営業所/久喜営業所/熊谷営業所/越谷営業所/埼玉南営業所/北本営業所/高崎営業所/ふじの野営業所
- 株小泉中部 本社/調布営業所/富士田営業所/佐久間営業所/甲府西営業所/長野営業所/上田営業所/伊那営業所/松本営業所/長野北営業所
- 株小泉神奈川 本社/特設営業所/横浜西営業所/大船営業所/泉営業所/川崎北営業所/川崎南営業所/港南営業所/横浜東営業所/旭営業所
- 株小泉相模 本社/相模原営業所/相模原中央営業所/相模原西営業所/平塚営業所/藤沢営業所/茅ヶ崎営業所
- 株小泉東海 本社/沼津営業所/富士営業所/藤枝営業所/清水営業所/御殿営業所/富士南営業所/浜松営業所
- 株ジャパンエロジー 総合電材部 本社/特設営業所/山口営業所/世田谷営業所
- 株住建 本社/由良営業所/大北営業所/フロストック 本社/仙田野店/仙台北店/太田店/白田店/入間店/川越店/さいたま上尾店/足立鹿沼店/東大和店/本厚木店/相模原店/横浜台店/柏店/千葉稲毛店/千葉市川店/Brick・Thankyou/Brick von Linth
- いすゞシステムズ 本社/横浜営業所
- 株リフォーララサ小泉 本社/狹間店/立川店/埼玉店
- 株クリンテック小泉
- 株小泉商事
- ハナカトリイン
- ユナイテッドサービス
- 小泉長坂上海貿易有限公司
- 南通小泉機電有限公司
- 株小泉コア
- 株小泉ベトナムトレーディング